

産廃特措法対象の4事案の概要

1 四日市市大矢知・平津事案

産業廃棄物処理業者が昭和56年3月から安定型処分場において処分業を開始後、許可面積、容量を大幅に超えて不適正処理を行ったため、雨水浸透による有害物質の浸出や廃棄物の飛散・流出等のおそれがあることが判明しました。

平成24年7月の四者協議（地元・学識経験者・市・県）において、具体的な対策工法に係る地元合意が得られ、同年9月から県単独の行政代執行として、地形測量、地質調査及び詳細設計を実施しています。

- ①原因者：（有）川越建材興業
（平成21年5月～清算法人に移行）
- ②時期：昭和56年3月から平成6年10月
- ③場所：四日市市大矢知町字大谷3074-1
ほか
- ④支障等：雨水浸透による有害物質の浸出や
の状況 廃棄物の飛散・流出等のおそれがある。



青：許可区域 赤：処分場関係区域
黄：隣接区域

2 桑名市源十郎新田事案

平成19年9月に、員弁川・藤川合流点付近の旧産廃処分場近傍の河川敷から廃油の滲出が確認され、平成22年10月、当該箇所地中から回収した廃油にPCB等の有害物質が含まれていることが判明しました。

緊急対策として、鋼矢板の設置（河川隣接部分）や藤川の瀬替え工（流路の変更）等を平成24年4月までに実施し、河川への廃油の滲出は抑止されています。

平成25年4月26日には、特措法に基づく行政代執行に着手しました。

- ①原因者：不明（調査中）
- ②時期：昭和48年から昭和51年と推定
（PCB 廃棄物）
- ③場所：桑名市大字五反田字源十郎新田
（河川区域内）
- ④支障等：VOC（揮発性有機化合物）やPCB
の状況 を含む廃油が地下水や員弁川に
流入した場合には、水道水源や
内水面漁業に支障を生じるおそれがある。



3 桑名市五反田事案

産業廃棄物処理業者により不法投棄された廃棄物が汚染源となり、平成9年10月に、周辺地下水等がVOCにより汚染されていることが判明しました。そのため、平成13年度に行政代執行に着手し、平成19年度までに汚染地下水の浄化等の目標を達成しました(平成17～19年度は産廃特措法に基づく事業として実施)。

しかし、平成22年3月に新たに1,4-ジオキサンによる汚染が判明したことから、平成23年度から促進酸化設備を整備し、地下水浄化による1,4-ジオキサンの汚染拡散防止措置を講じています。

- ①原因者：株式会社七和工業
- ②時期：平成7年4月から平成8年3月頃
- ③場所：桑名市大字五反田字多々星
1701番
- ④支障等：1,4-ジオキサンにより地下水が
の状況 汚染され、拡散により嘉例川及
び員弁川に流入した場合、水道
水源や農業用水の利水、内水面
漁業に支障を生じるおそれがある。

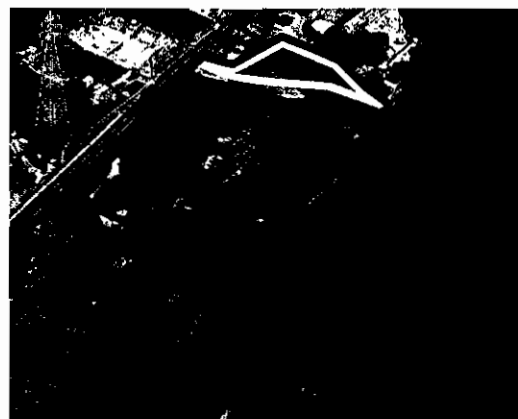


4 四日市市内山事案

産業廃棄物処理業者の安定型処分場等において、許可品目外の木くず、紙くずの処分や許可容量を超える廃棄物の埋立が行われ、廃棄物層内で高濃度の硫化水素やメタンガスの発生が判明しました。県は、平成19年2月、緊急対策としてガスの回収処理等の行政代執行(県単)に着手し、硫化水素ガス濃度は低下しています。

平成24年11月から特措法に基づく行政代執行として、霧状酸化剤(過酸化水素水)注入による硫化水素発生抑制対策を実施しています。

- ①原因者：(株)シーマコーポレーション
(旧 成豊(株) 平成19年清算終了)
(有)功進 (平成15年清算終了)
- ②時期：平成元年3月から平成11年9月
- ③場所：四日市市内山町字高砂
- ④支障等：廃棄物内部に設置した井戸から硫化
の状況 水素ガスやメタンガスが発生しており、
周辺へ悪臭の漏洩や火災の発生
のおそれがある。



青：許可・届出区域 赤：廃棄物埋設区域
黄：中間処理場

①四日市市大矢知・平津事案

1. スケジュール(案)

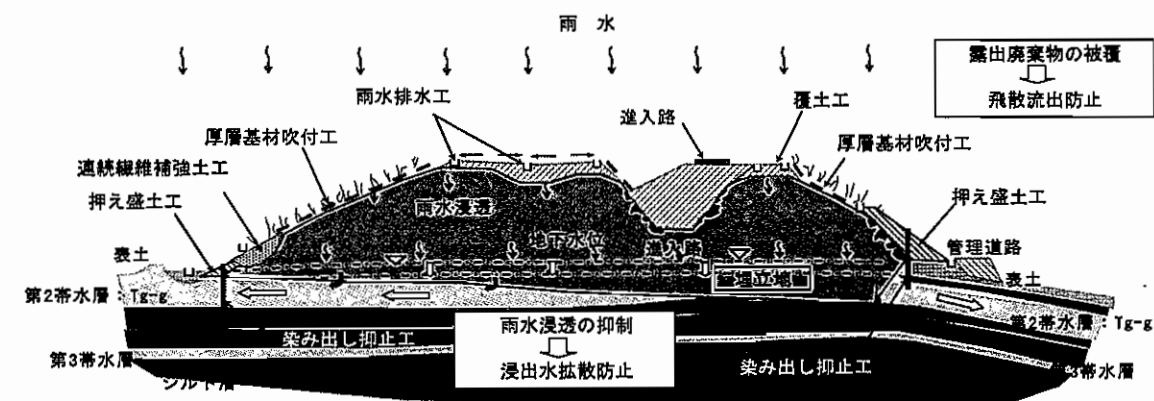
区分	対策工	内容	24年度	25年度当初予算額: 618百万円 進入道路・調整池設置: 465百万円 用地買収・測量・登記: 87.35百万円 跡地利用推進事業: 20百万円 モニタリング・事務費: 45.65百万円	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
測量、調査、設計		・現地測量、地質調査、詳細設計	→										
工事	調整池設置 ⁺	・覆土対策によって増加する表流水への対応 3箇所(処分場入口側、中溜池側、西水路側)		①処分場入口側 C=325百万円	→	→	→	→					
	進入道路	・今後の維持管理を行ううえでの対応		②処分場入口側 C=140百万円	→								
	管理用道路	・今後の維持管理を行ううえでの対応			→	→	→	→					
	染み出し抑止工	・廃棄物層からの有害物質染み出し水への対応 2箇所(中溜池側、西水路側)							→	→			
	押さえ盛土工	・地震時の長大の法面崩壊への対応							→		→		
	覆土工	・雨水浸透抑制への対応					→	→					
	厚層基材吹付工	・雨水浸透抑制への対応							→	→	→	→	
	連続繊維補強土工	・既存法面崩壊箇所への対応										→	
	雨水排水工	・覆土対策によって増加する表流水への対応							→				
用地	用地借地、買収、測量、登記	・管理用道路の借地 ・調整池の用地買収 ・用地測量・登記		C=87.35百万円	→	→	→	→	→	→	→	→	→
その他	不法投棄跡地等利用推進事業委託	・跡地活用方策設計のための調査		C=20百万円	→								
管理	モニタリング	・処分場内外の地下水・表流水・浸透水の水质、発生ガス、温度の継続モニタリング	→	C=45.65百万円	→	→	→	→	→	→	→	→	→

2. 恒久対策概要

全体計画平面図



支障除去対策の概念図(断面図)



②桑名市源十郎新田事案

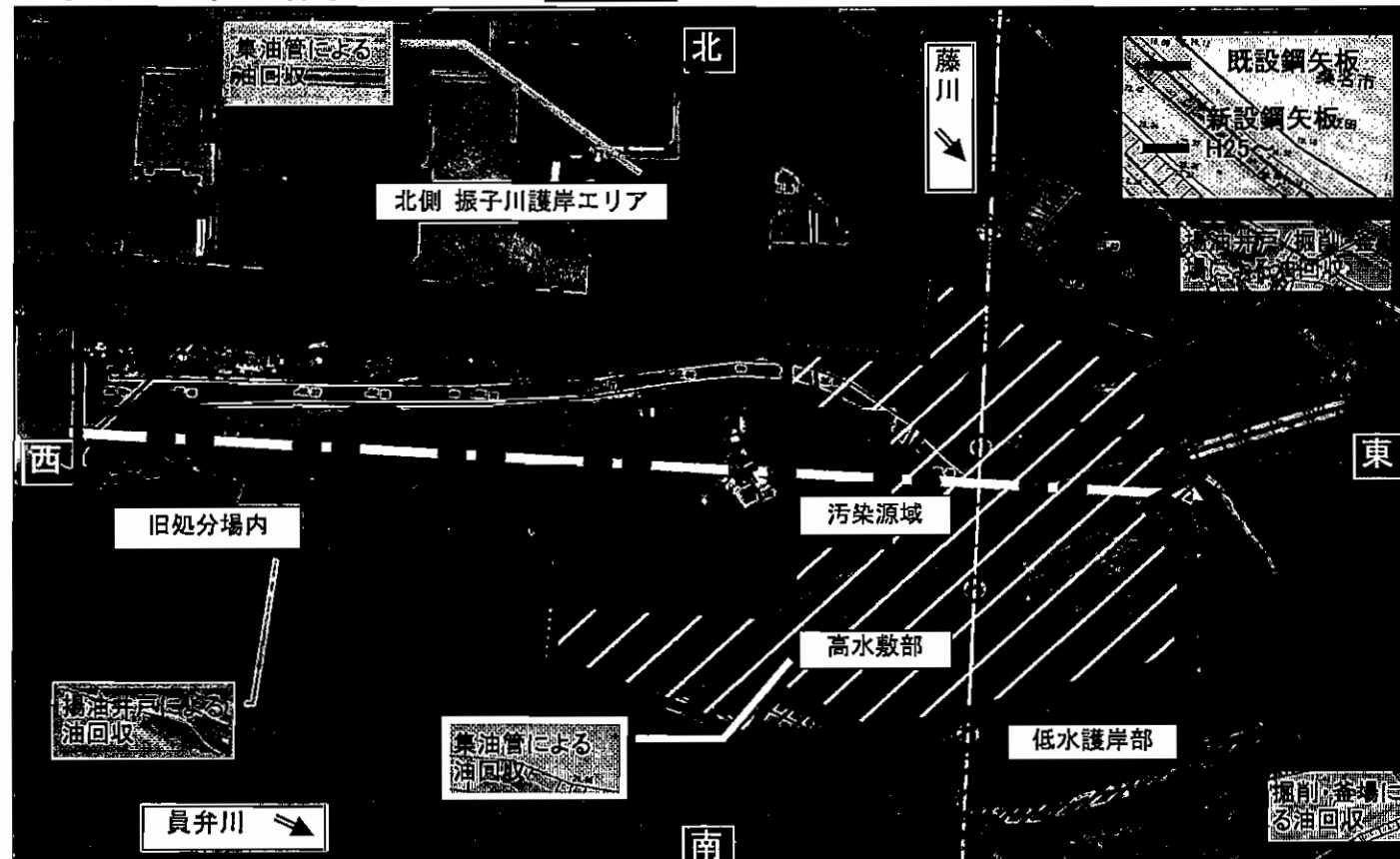
1. スケジュール(案)

平成25年6月21日 廃棄物適正処理PT

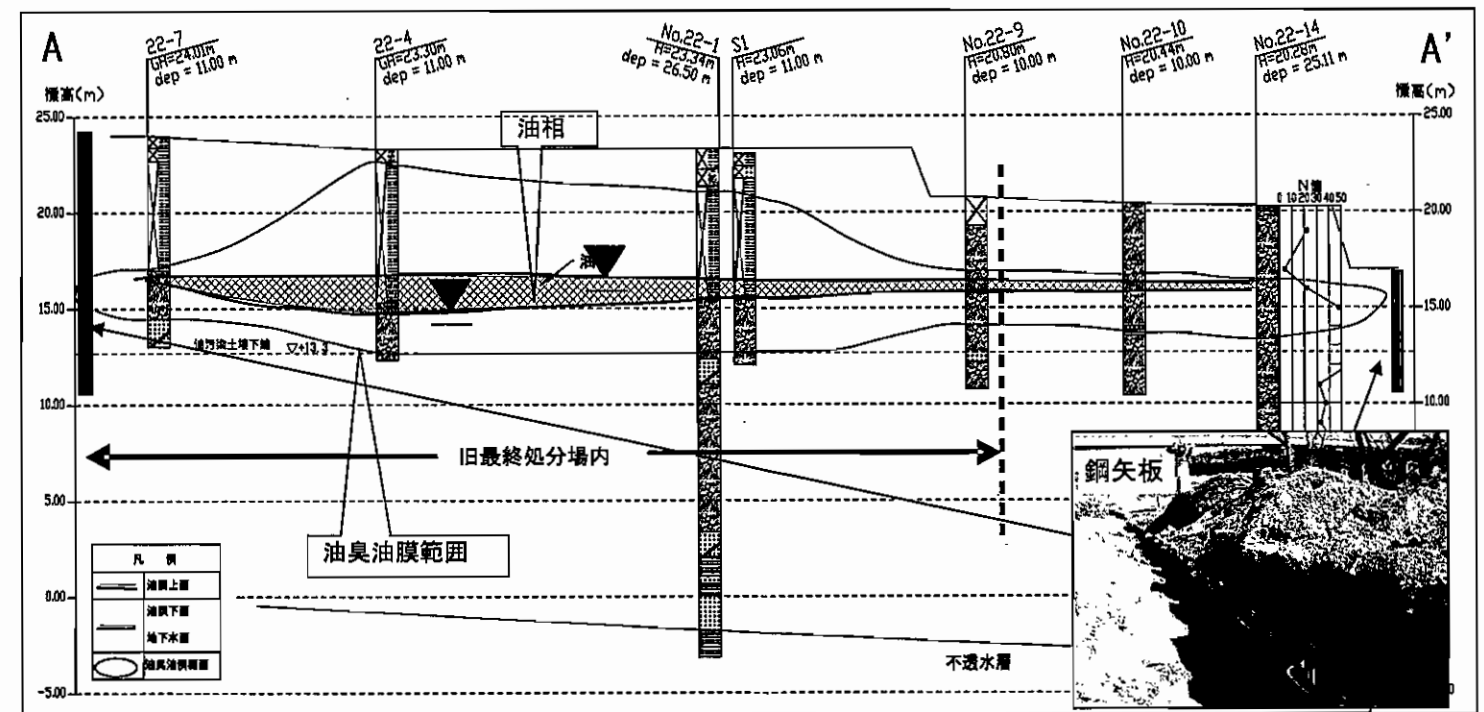
区分	対策工	内容	24年度	25年度当初予算額 134百万円 鋼矢板設置工 100百万円 油回収 10百万円 モニタリング・その他 24百万円	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
工事	囲い込み(その1)	・鋼矢板設置		鋼矢板設置 C=50百万									
	囲い込み(その2) 廃棄物等掘削除去等 附帯施設整備	・鋼矢板設置 ・廃棄物等保管庫整備 ・汚染土壌等洗浄等施設整備 ・水処理施設整備 ・集油管等設置		債務負担行為設定(H26~H28)	鋼矢板設置 (H25) C=50百万	附帯施設整備・掘削除去等・集油管等整備							
	汚染土壌処分	・汚染土壌の委託処理				汚染土壌運搬・処分							
	附帯施設撤去	・附帯施設撤去									附帯施設撤去		
	油回収	・井戸、集油管等を利用した油の回収	→	C=10百万	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	旧処分場内の油回収	・旧処分場内の油回収 (回収方法は中間検証時に決定)											
	廃棄物等の処分	・PCB廃棄物等の処分											
管理	モニタリング・その他	・河川水、周辺の地下水の水質等監視等	→	C=24百万	→	→	→	→	→	→	→	→	対策効果モニタリング
その他	中間検証	・実施してきた対策の検証と、それをふまえた旧処分場内の今後の具体的対策の検討				→							

2. 恒久対策の概要

平面図



② A-A'断面図



【概要】

- ① 対策区域を5つのエリアに区分し、鋼矢板により囲い込む。
- ② 不法投棄物を撤去するとともに、各エリア毎に最も適した方法(掘削・集油管・揚油井戸等)により油を回収する。

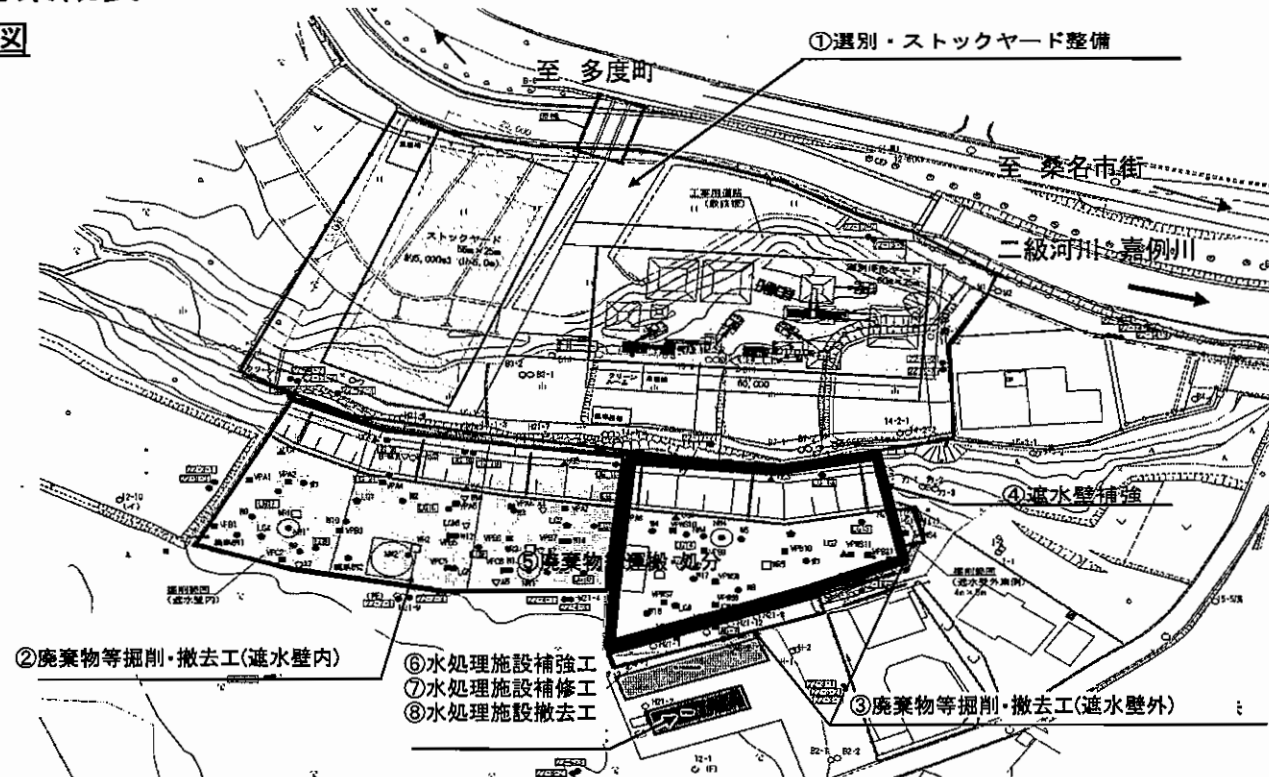
③桑名市五反田事案

1. スケジュール(案)

区分	対策工	内容	24年度	25年度当初予算額 573百万円 〔廃棄物等掘削・撤去工事 443百万円 水処理施設運転管理委託 30百万円 その他 100百万円〕	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
工事	水処理施設改良	・既存水処理施設改良 ・促進酸化施設設置	促進酸化施設設置・運転管理										
	廃棄物等掘削・撤去	・仮橋設置 ・選別・ストックヤード整備 ・廃棄物等掘削・撤去工(遮水壁内) 約2,300m ² ・廃棄物等掘削・撤去工(遮水壁外) 約200m ² ・遮水壁補強工		①仮橋設置 ・選別・ストックヤード整備工 C=30百万円	撤去開始			撤去完了 遮水壁補強完了 農地原形復旧					
	廃棄物等運搬・処分	・廃棄物・汚染土壌											
	水処理施設補強	・計画処理水量 60m ³ /日 → 90m ³ /日											
	水処理施設補修	・各種ポンプ交換等	揚水井戸改良										
	水処理施設撤去												⑧水処理施設撤去
管理	水処理施設運転管理			(25年度)C=30百万円 債務負担行為(H25~H28) 光熱水費、消耗品費等10百万円									
	モニタリング	・遮水壁内外の揚水井及び観測井、放流水及び河川水の1,4-ジオキサン濃度を測定		(25年度)モニタリングその他 C=40百万円									

2. 恒久対策概要

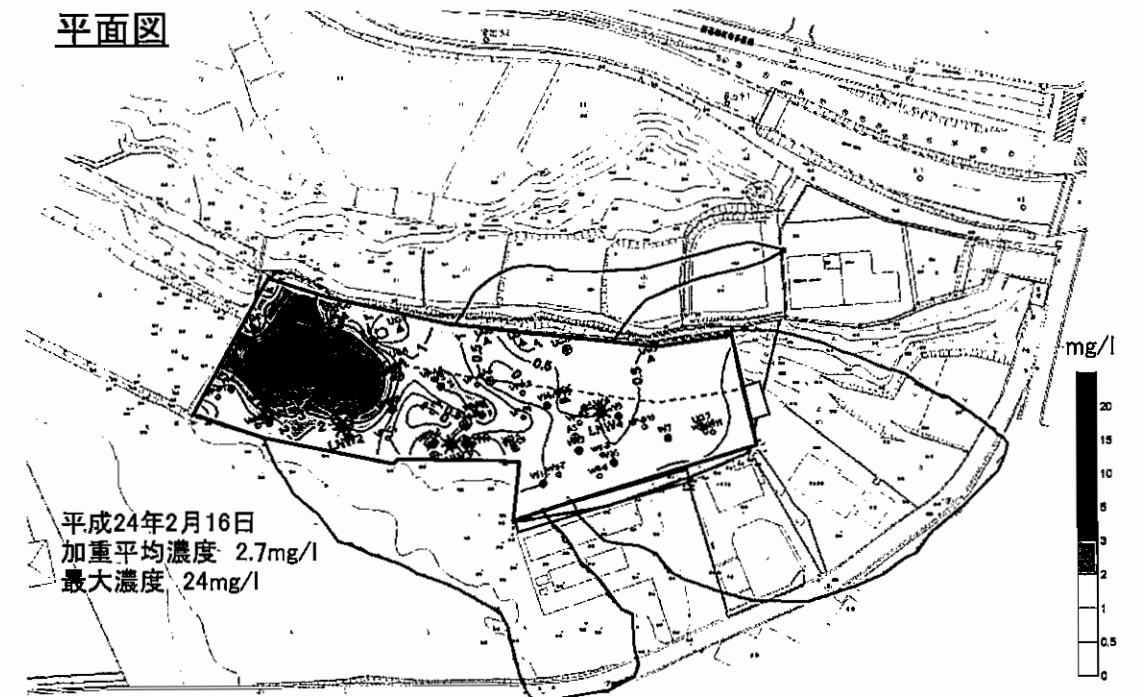
平面図



3. 1,4-ジオキサンによる汚染状況

遮水壁内外の帯水層における1,4-ジオキサン濃度

平面図



④四日市市内山事案

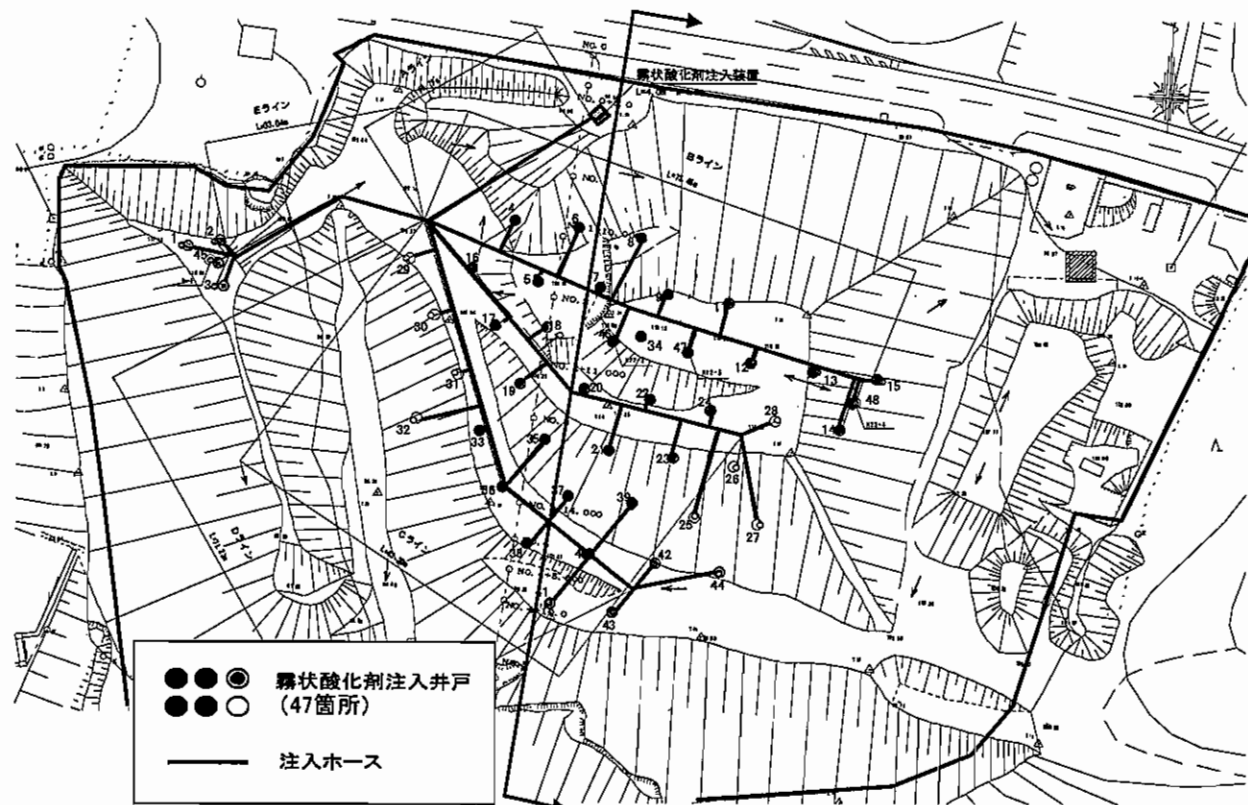
平成25年6月21日 廃棄物適正処理PT

1. スケジュール(案)

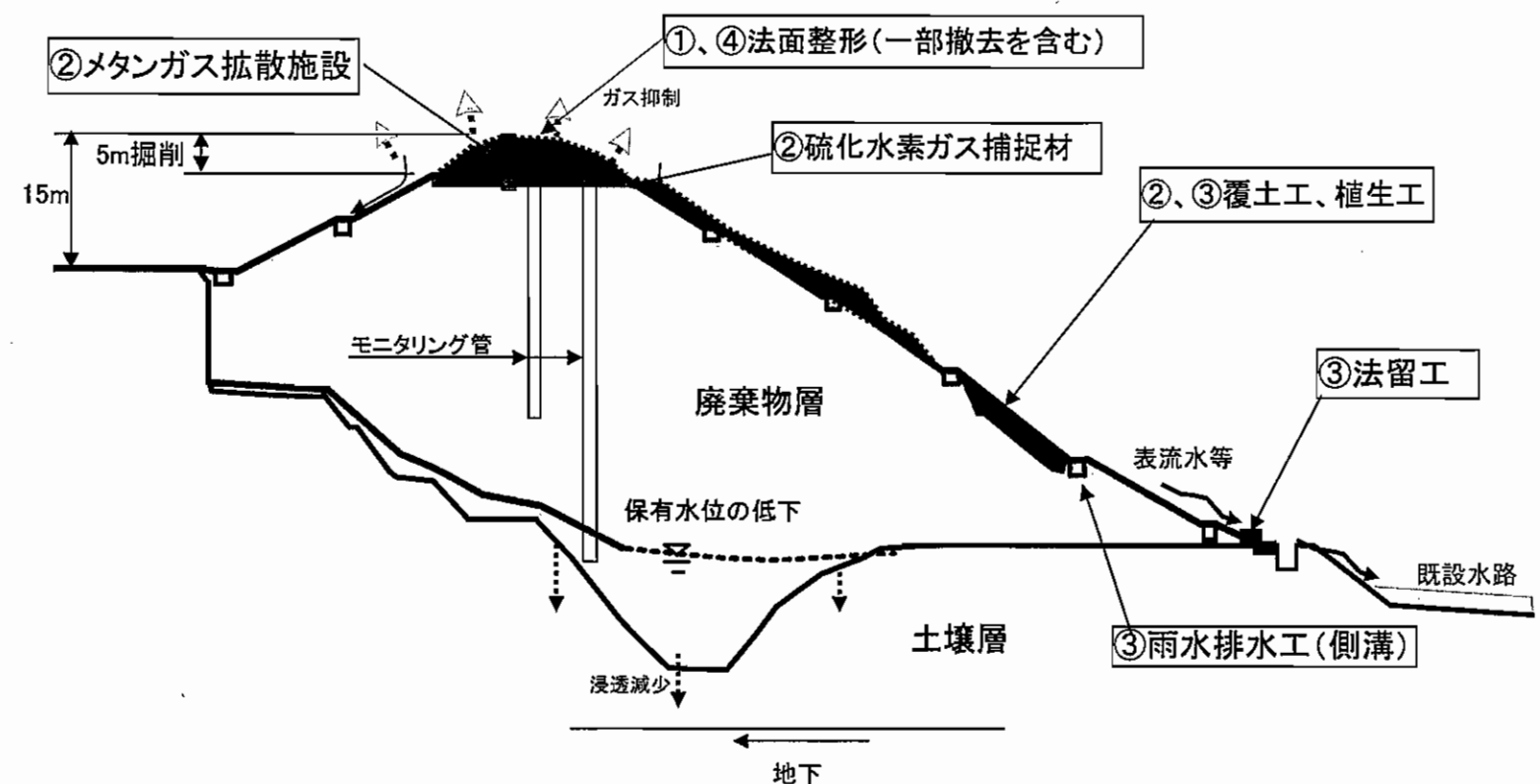
区分	対策工	内容	24年度	25年度当初予算額 227百万円 整形覆土工事 90百万円 掘削廃棄物処分委託 125百万円 霧状酸化剤点検運転管理 7百万円 モニタリング 5百万円	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
工事	恒久対策(第1段階) 硫化水素ガス発生抑制対策工事	・ボーリング工 43本 ・霧状酸化剤注入装置設置 ・配管設置 ・霧状酸化剤の注入	→										
	恒久対策(第2段階) 整形覆土工事等	・準備工 注入設備運転 1式 ・整形工 約31,000m ³ ・覆土工 約20,000m ³ ・雨水排水工 ・法留工		①注入設備運転管理 H25 C=7百万円	→	→	→	→	→	→	→	→	→
		・廃棄物処理工			債務負担行為設定(H26~H29) H25 C=90百万円 ②整形工 ③覆土工 ④雨水排水工、法留工	→	→	→	→	→	→	→	→
管理	モニタリング	・敷地境界等でのガスのモニタリングや周辺地下水質モニタリングの継続実施	→	⑤掘削廃棄物処分 H25 C=125百万円	→	→	→	→	→	→	→	→	→
				⑥モニタリング H25 C=5百万円	→	→	→	→	→	→	→	→	→

2. 恒久対策概要

平面図(硫化水素ガス発生抑制対策工事(第1段階))



縦断面図(整形覆土工事等(第2段階))



9 各種審議会等の審議状況について

(平成25年2月27日～平成25年6月3日)

1 三重県環境審議会

1 審議会等の名称	三重県環境審議会
2 開催年月日	平成25年3月27日
3 委員	会長 内田 淳正 副会長 青木 民夫、馬岡 晋 委員 青木 美江子 他18名
4 諮問事項	なし
5 調査審議結果	①三重県地球温暖化対策の推進に係る条例のあり方（中間案） ②水生生物の保全に係る水質環境基準の類型指定 ③西員弁地域農用地土壌汚染対策地域における調査結果について、審議が行われた。
6 備考	

2 三重県私立学校審議会

1 審議会等の名称	三重県私立学校審議会
2 開催年月日	平成25年3月27日
3 委員	会長 宗村 南男 委員 梅村 光久 他9名
4 諮問事項	なし
5 調査審議結果	各種学校、専修学校、幼稚園の設置計画等について審議された。
6 備考	

3 三重県立図書館協議会

1 審議会等の名称	三重県立図書館協議会
2 開催年月日	平成25年3月14日
3 委員	会長 井村 正勝 副会長 坂倉 加代子 委員 岸 葉子 他4名
4 諮問事項	なし
5 調査審議結果	三重県立図書館改革実行計画・平成24年度アクションプログラムの進捗及び平成25年度アクションプログラム案について協議、意見交換が行われた。
6 備考	

4 三重県立美術館協議会

1 審議会等の名称	三重県立美術館協議会
2 開催年月日	平成25年3月14日
3 委員	会長 石原 義剛 副会長 岡野 友彦 委員 伊藤 英子 他7名
4 諮問事項	なし
5 調査審議結果	平成24年度美術館事業進捗状況、平成25年度事業概要について意見交換が行われた。
6 備考	

5 三重県環境影響評価委員会

1 審議会等の名称	三重県環境影響評価委員会
2 開催年月日	平成25年3月19日
3 委員	会長 高橋 正博 副会長 太田 清久 他11名
4 諮問事項	亀山試験施設用地造成事業に係る環境影響評価方法書に対する環境の保全の見地からの意見について
5 調査審議結果	委員会での指摘事項について事業者から見解説明を受け、環境影響評価方法書に記載された内容について審議された。
6 備考	答申日（平成25年4月17日）

6 三重県男女共同参画審議会

1 審議会等の名称	三重県男女共同参画審議会
2 開催年月日	平成25年5月28日
3 委員	会長 佐伯 富樹 副会長 川口 節子 委員 伊藤 和子 他16名
4 諮問事項	なし
5 調査審議結果	男女共同参画施策の実施状況の評価、知事への提言について検討された。
6 備考	

7 三重県消費生活対策審議会

1 審議会等の名称	三重県消費生活対策審議会
2 開催年月日	平成25年3月19日
3 委員	会長 鈴木 真由子 委員 赤木 邦男 他6名
4 諮問事項	なし
5 調査審議結果	平成24年度事業実施状況及び平成25年度事業計画について意見交換が行われた。
6 備考	

8 三重県自動車廃物認定委員会

1 審議会等の名称	三重県自動車廃物認定委員会
2 開催年月日	平成25年2月19日
3 委員	委員長代理 岡野 功資 委員 伊賀 恵 他4名
4 諮問事項	放置自動車の廃物認定について（県管理地2件）
5 調査審議結果	審議案件2件について、廃物として認定可能との答申が示された。
6 備考	

